

# 平林地域まちづくり協議会通常総会資料

日時：平成27年4月10日 午後7時  
会場：平林ふれあいセンター



## □ 総会次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 来賓祝辞
4. 総会成立報告
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選任
7. 議事

議第1号 平成26年度事業報告及び収支決算の承認について

議第2号 平林地域まちづくり計画（案）の承認について

議第3号 平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認について

8. 議長退任
9. その他
10. 閉会

### ○写真の紹介

上	段	地域交流事業（芋煮合戦）	右	一段目	松沢地域資源探求と開発
左	一段目	小岩内獅子舞		二段目	湯ノ沢集落運動会
	二段目	葛籠山炊き出し訓練		三段目	宿田剣舞
	三段目	川部獅子舞		四段目	防犯研修会（講師：三流亭楽々様）
	四段目	平林不動滝			

議第 1 号

平成 26 年度事業報告及び収支決算の承認について

平成 26 年度事業報告及び収支決算について、別紙のとおり承認を求めます。

平成 27 年 4 月 10 日 提出  
平林地域まちづくり協議会 会 長 佐藤 幸夫

平成 27 年 4 月 10 日 承認  
平林地域まちづくり協議会 総会議長 小池 信義

□ 平成26年度 活動報告

項目	開催日	内容	出席者
通常総会	H26. 4. 11 (金)	事業報告、役員承認、事業計画、予算(案)	41
運営委員会	第1回目	H26. 6. 3 (火) 元気づくり応援事業について	13
	第2回目	H26. 6. 18 (水) 交流事業、視察研修の日程について	14
	第3回目	H26. 7. 16 (水) 学校との連携、コミュニティ支援事業について	13
	第4回目	H26. 8. 20 (水) 交流事業雨天時の競技種目について	13
	第5回目	H26. 9. 24 (水) 交流事業の役割分担について	12
	第6回目	H26. 10. 22 (水) 交流事業の反省、視察研修について	12
	第7回目	H26. 11. 12 (水) まちづくり計画の検討について	10
	第8回目	H26. 12. 5 (金) 防犯研修会、コミュニティ支援事業の審査について	7
	第9回目	H27. 1. 21 (水) まちづくり計画、コミュニティ支援事業について	14
	第10回目	H27. 2. 25 (水) まちづくり計画、H27年度事業計画について	12
	第11回目	H27. 3. 18 (水) 総会について	14
地域交流事業前日準備	H26. 10. 11 (土)	草刈り等会場設営準備	16
地域交流事業 「芋煮合戦とお不動様ハイキング & 荒川クリーン作戦」	H26. 10. 12 (日)	お不動様ハイキング 荒川クリーン作戦 芋煮合戦 ビンゴゲーム 集落対抗〇×クイズ 伝統芸能披露「川部獅子舞」	350
平林小学校・平林地域まちづくり協議会意見交換会	H26. 9. 4 (木)	校長、会長、副会長、事務局で意見交換	4
女性代議員意見交換会	H26. 10. 4 (土)	ワークショップ形式で意見交換会を開催	10
先進地視察研修(運営委員)	H26. 11. 16 (日)	朝日地区「猿沢地域まちづくり協議会」	10
平林地域防犯研修会	H27. 3. 1 (日)	講師: 県防犯アドバイザー 三流亭楽々様	74
広報誌発行	H26. 7. 15	第10号	
	H26. 9. 1	全地域版第1号	
	H27. 3. 31	全地域版第2号	
	H27. 3. 31	第11号	

□ 運営委員会



□ 地域交流事業「芋煮合戦！とお不動様ハイキングと荒川クリーン作戦」 (H26.10.12)



□ 研修

1. 女性代議員意見交換会(H26.10.4)



2. 朝日地区猿沢まちづくり協議会視察研修(H26.11.16)



3. 平林地域防犯研修会(H27.3.1)



平成26年度 集落活動支援事業一覧

集落	事業名	事業目的、内容	交付金額
松 沢	松沢区地域資源探求と開発事業	地域資源（伝統的な食や文化）を探求し、その開発を行うことで区民の親睦を図った。伝統料理（笹巻、蕨料理、えび料理、栃餅）のレシピを作成した。	42,500
小岩内	小岩内収穫祭	・集落内の親睦と融和を図ることを目的とし収穫祭を行った。また、伝統文化「神楽舞」を披露し伝統文化への理解を深めた。	37,550
川 部	川部大神楽伝統芸能継承	・江戸時代中期から継承されてきた伝統芸能に区を挙げて取り組むことにより区内の連帯感の醸成と活性化を図った。今年度は、神楽用締太鼓を購入した。	39,150
湯ノ沢	区民運動会	・集落の野球部員が立ち上げ、36年間継続してきた事業。 ・9月グラウンド整備（草取り）、準備、打合せ、プログラム作成、買出し。 ・運動会終了後、懇親会を行った。	43,100
葛籠山	1 ふれあいラジオ体操 2 区民防災訓練と炊き出し訓練	・小学校の夏休み期間中に区民全体に呼びかけ、一緒にラジオ体操を行い、子供達との交流を図った。 ・消防団と連携して車椅子を使った避難訓練や炊き出し訓練を行なうことで防災意識を高めた。	40,900
平 林	平林不動滝整備	・地域資源である平林不動滝の環境整備を行ない、地域の魅力をPRすることができた。	57,250
宿 田	1 観桜会 2 宿田そば祭り	・参加者全員で当日の会場準備や、焼肉、焼きそば、トン汁などを作り、世代間の交流を図った。 ・集落内の各種団体が協力し、地元産のそば粉でそばうち体験をし、参加者全員で試食会を行った。	52,750

□ 集落活動支援事業 報告

集 落	松 沢	事業名	松沢区地域資源探求と開発事業	
実施日・期間	H26.5.23～H26.11.9		交付金額	42,500 円
事業内容	地域資源の探求と開発事業として、伝統料理作り(笹巻、蕨料理、えび料理、栃餅)のレシピを老若男女で作成した。			
事業効果	伝統料理のレシピ作りを通じて集落の自然の豊かさに多くの区民が気がついた。集落内の伝統や文化の理解や親睦が深まった。また、女性の参加が増えた。			



集 落	小岩内	事業名	小岩内収穫祭	
実施日・期間	8月31日		交付金額	37,550 円
事業内容	集落内の親睦と融和を図ることを目的に若者が中心となって収穫祭を行い焼きそば、流しそうめん等を振舞った。			
事業効果	老若男女が一堂に会し、若者が作った料理が振る舞われ集落の融和が図られた。また、伝統芸能である神楽舞も披露され親睦と伝統芸能継承に対する理解が深まった。			



集 落	川 部	事業名	川部大神楽の伝統芸能継承	
実施日・期間	H26年6月～9月		交付金額	39,150 円
事業内容	神楽の保存・継承に必要な締太鼓二丁掛を購入した。			
事業効果	締太鼓二丁掛を購入することで、村上市の無形文化財でもある大神楽の保存・継承活動に努めることができた。			



集 落	湯ノ沢	事業名	区民運動会	
実施日・期間	9月14日		交付金額	43,100 円
事業内容	今回で37回目を迎える継続事業である。開催準備としてグラウンドの整備、打合せ等会議、景品の買出し準備を行った。			
事業効果	子供から大人まで老若男女が一堂に会し、運動を通して親睦と交流が図られた。また、健康と体力増進にもつながった。			





集 落	葛籠山 1	事業名	ふれあいラジオ体操	
実施日・期間	8月3日、10日		交付金額	0 円
事業内容	小学校の夏休み期間中にラジオ体操に合わせて小学校の保護者一般住民に呼びかけて一緒にラジオ体操をした。終了後、防犯活動の一環として児童の紹介を行った。			
事業効果	大人と児童と一緒にラジオ体操を行なうことにより、世代間の交流を深めることが出来た。参加者に園児、児童の紹介を行なうことにより子供を見守る意識が高まった。			



集 落	葛籠山 2	事業名	区民防災訓練と炊き出し訓練	
実施日・期間	8月31日、10月12日		交付金額	40,900 円
事業内容	消防団と連携して車椅子を使った避難訓練を行なった。また、地域交流事業に合わせ非常炊き出しを行い、おにぎりを作って参加者に配布した。			
事業効果	車椅子を使った避難訓練には、高齢者も参加し区民の防災意識が高まった。			



集 落	平 林	事業名	平林不動滝整備	
実施日・期間	H26.4.28～H26.5.3		交付金額	57,250 円
事業内容	「新潟県の名水」にノミネートされている不動滝周辺に植樹を行い景観整備を図る。			
事業効果	「新潟県の名水」に選定された。地域交流事業では、ハイキングコースとして多くの参加者が訪れ、平林の地域資源をPRすることが出来た。			



集 落	宿 田 1	事業名	観桜会	
実施日・期間	4月20日		交付金額	20,000 円
事業内容	集落各団体による事前準備会議を開催。当日は大勢の参加者で準備を行い、参加者全員でビンゴゲームを行なった。			
事業効果	集落住民の交流と連帯を深めることが出来た。特に、日頃顔を合わせることのない若いお嫁さんとの世代間の交流が図られ、親睦が深まった。			



集 落	宿 田 2	事業名	宿田そば祭り	
実施日・期間	2月22日		交付金額	32,750 円
事業内容	宿田集落の伝統行事であるそば祭りを集落内の各団体が協力して実施する。地域で栽培されたそば粉で子どもから大人までそばうちを体験し、試食会を行う。			
事業効果	・集落内の各団体が連携して事業を行うことにより、農家と非農家の人との交流や、世代間の交流親睦が図られた。			



平成26年度 元気づくり応援事業一覧

集落	事業名	事業目的、内容	交付金額
松 沢	旧野田堤跡湿原の遊学利用	松沢の地域資源である旧野田堤跡湿原周辺の生物・植物を調査し、遊歩道の整備を行なった。	70,000
川 部	集落施設活性化事業	集落内の各種団体の活動を支援するためテレビを購入した。テレビを活用して研修会などを開催した。	100,000
湯ノ沢	集落施設活用事業	集落施設の利用を促進するためカラオケソフトを購入した。ソフトを利用して地域の茶の間や区民の親睦を深めた。	70,000
葛籠山	葛籠山ふれあいセンター活用事業	高齢者が集える場を作るためカラオケ機器を購入した。カラオケ機器を活用して高齢者の交流を深めた。	94,800
平 林	平林イルミネーション事業	人との絆を大切に思い、人々に感動と希望を与え、平林集落をアピールするとともに地域の活性化につなげることを目的としてイルミネーションツリーを設置した。	70,000
宿 田	伝統文化継承事業	宿田集落の伝統ある神楽（獅子舞、剣舞、おばこ踊り）を継承していくために神楽用提灯を購入した。	100,000

□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	松 沢	事業名	松沢区地域資源探求と開発事業		
実施日・期間	5月25日、8月24日、11月9日		交付金額	70,000	円
事業効果	湿原周辺の生物調査と植物調査を行い、希少な生物、植物の報告書をまとめた。湿原の周遊歩道整備の一環として木橋を4カ所新設した。集落の自然を後世に残すという意義が住民に根付いた。				



集 落	川 部	事業名	集落施設活性化事業		
実施日・期間	通年		交付金額	100,000	円
事業効果	地域の茶の間の活動や防災訓練においてテレビを活用した研修を行なった。また、各種団体の活動においてテレビを使った研修を行なえるようになり、施設利用の活性化が図られた。				



□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	湯ノ沢	事業名	集落施設活用事業	
実施日・期間	通年		交付金額	70,000 円
事業効果	カラオケソフトを利用した新しい活動に取り組み、区民の親睦交流が深まった。集落運動会や地域の茶の間など年間を通じて利用することにより施設を利用する機会が増えた。			



集 落	葛籠山	事業名	葛籠山ふれあいセンター施設活用事業	
実施日・期間	通年		交付金額	94,800 円
事業効果	カラオケ機器を活用した活動を通じて区民の親睦が深まった。今後、カラオケ機器を使った事業や親睦の場など施設の活用の取り組みが期待される。			



□ 元気づくり応援事業 報告

集 落	平 林	事業名	平林イルミネーション事業	
実施日・期間	6月～1月		交付金額	70,000 円
事業効果	子供から大人まで集落の各種団体が一丸となってイルミネーションツリーの制作に関わったことで地域の絆が深まった。交通量の多い国道七号線に近い農村公園に設置したことにより平林集落をアピールすることができた。			



集 落	宿 田	事業名	伝統文化継承事業	
実施日・期間	通年		交付金額	100,000 円
事業効果	宿田集落で長年受け継がれてきた神楽(獅子舞、剣舞、おばこ踊り)の継承に必要な提灯を購入した。獅子、剣を運ぶ太鼓櫓の行列の明かりとして、子供達に提灯を持ってもらい神楽に関わってもらうことで伝統文化の継承につながった。			



## 平成26年度 平林地域まちづくり協議会 収支決算書

### 収 入

(単位:円)

区 分	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算額	比較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,608,000	0	1,608,000	1,608,000	0	地域まちづくり交付金
2 諸収入	280,000	0	280,000	279,161	▲ 839	前年度繰越金279,043円、利子118円
合 計	1,888,000	0	1,888,000	1,887,161	▲ 839	

### 支 出

区 分	当初予算額	流用額	流用後予算額	決算額	比較	説 明
1 地域振興費	320,000	23,000	343,000	342,412	588	
1 地域交流事業	300,000	43,000	343,000	342,412	588	地域交流イベント(連携事業、予備費から流用)
2 連携事業	20,000	▲ 20,000	0	0	0	他団体との連携事業(地域交流事業へ流用)
2 研修費	130,000	0	130,000	27,804	102,196	
1 研修事業	100,000	0	100,000	27,804	72,196	先進地研修:猿沢地域(13,000円) 防犯研修会(14,804円)
2 基盤整備事業	30,000	0	30,000	0	30,000	住民参画を促す話し合いの場づくり
3 地域コミュニティ支援経費	814,000	4,800	818,800	818,000	800	
1 集落活動支援事業	314,000	0	314,000	313,200	800	各集落の事業を支援
2 元気づくり応援事業	500,000	4,800	504,800	504,800	0	手上げ方式支援事業(予備費から流用) (松沢、川部、湯ノ沢、葛籠山、平林、宿田)
4 安全安心な暮らし対策事業	20,000	0	20,000	0	20,000	
1 安全安心な暮らし対策事業	20,000	0	20,000	0	20,000	自主防災組織との連携
5 健康・福祉増進経費	21,000	0	21,000	0	21,000	
1 ささえあいの地域づくり事業	20,000	0	20,000	0	20,000	ささえあいの地域づくり検討事業
2 敬老会事業	1,000	0	1,000	0	1,000	敬老会参画
6 環境保全・改善経費	20,000	0	20,000	10,992	9,008	
1 環境整備事業	20,000	0	20,000	10,992	9,008	荒川クリーン作戦(ごみ袋、トンブ)
7 組織運営経費	502,000	0	502,000	408,837	93,163	
1 役員報償費	262,000	0	262,000	262,000	0	会長 32,000円×1 副会長 22,000円×1 運営委員 17,000円×12 監事 2,000円×2 計 262,000円
2 費用弁償	35,000	0	35,000	8,000	27,000	女性代議員会議(8名)
3 会議費	20,000	800	20,800	20,800	0	会場借り上げ料500×12回=6,000円 お茶代等(消耗品費から流用)
4 消耗品費	30,000	▲ 800	29,200	2,835	26,365	コピー用紙、事務用品等 (会議費へ流用)
5 印刷製本費	150,000	0	150,000	110,882	39,118	まちづくり新聞
6 口座振替手数料	5,000	0	5,000	4,320	680	口座振替手数料
8 予備費	61,000	▲ 27,800	33,200	0	33,200	地域交流事業へ予備費流用23,000円 元気づくり応援事業へ予備費流用4,800円
合 計	1,888,000	0	1,888,000	1,608,045	279,955	

収入額合計	支出額合計	次年度繰越額
1,887,161	1,608,045	279,116




平成 26 年度 監査報告

平林地域まちづくり協議会の平成 26 年度事業報告書及び収支決算書について、通帳、出納簿並びに関係書類を監査し結果、適正に処理、記載されていると認める。

以上

平成 27 年 3 月 31 日

監事 坂藤 勝崇 

監事 佐藤 久美子 

議第2号

平林地域まちづくり計画（案）の承認について

平林地域まちづくり計画を制定したいので、別紙案により承認を求めます。

平成27年4月10日 提出  
平林地域まちづくり協議会 会長 佐藤 幸夫

平成27年4月10日 承認  
平林地域まちづくり協議会 総会議長 小池 信義

## □ 平林地域まちづくり計画

### 1. 平林地域の現状

平林小学校区は、松沢、小岩内、川部、湯ノ沢、葛籠山、平林、宿田の7集落からなり、人口1,952人、世帯数570（H27.1.1住民基本台帳）の神林地区内では2番目に人口の多い地域です。

南に日本一の「清流荒川」を抱き、東に推定樹齢850年の巨大姥杉が生育している薬師岳があり、古くから信仰の対象となってきました。

また、この地域には、歴史的資源が多く、最も代表的なのは、国指定平林城跡と市の文化財に指定されている千眼寺の保呂羽堂があります。各集落では、伝統芸能が盛んで川部の大神楽（市の無形文化財指定）、小岩内の獅子舞、松沢獅子舞、宿田の剣舞など、何世代にもわたり、大切に継承されてきました。

圃場整備された広大な田園が広がり、主たる産業は農業ですが、兼業農家の比率が年々高くなっており、それに伴いライフスタイル、幸福の質等が多様化してきています。

しかし、ほとんどの集落で依然として多くの集落維持作業が行われており、高齢化とともに住民の負担感は相当なものがあると推測されます。

少子高齢化が進み、平成24年の住民基本台帳で比較すると、人口が4.8%（99人）減少しており、今後、集落機能の維持・伝統芸能の存続が難しくなるのではとの不安が高まっています。

【人口・世帯数等の推移】

（住民基本台帳数値より）

集落名	平成27年1月1日		平成24年1月1日		平成24年住民基本台帳に対する増減			
	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	増減数		増減率	
					人口	世帯数	人口	世帯数
松 沢	231	67	245	67	-14	0	-5.7	0
小岩内	139	38	148	36	-9	2	-6.1	5.6
川 部	163	45	178	45	-15	0	-8.4	0
湯ノ沢	227	74	259	77	-32	-3	-12.4	-3.9
葛籠山	221	60	220	62	1	-2	0.5	-3.2
平 林	526	166	550	163	-24	3	-4.4	1.8
宿 田	445	120	451	118	-6	2	-1.3	1.7
合 計	1,952	570	2,051	568	-99	2	-4.8	0.4

## 地域の将来像

# 自然と文化、ひとがかがやく平林

### □ 豊かな自然環境を維持し文化を育む郷

- ・清流荒川や国史跡平林城跡をはじめとした地域資源や自然環境の維持整備
- ・ごみ減量やリサイクル運動、エコ活動の推進
- ・平林地域の伝統や文化への理解を深め、次世代への継承を支援

### □ 一人ひとりの良さをいかした安心で活力ある郷

- ・地域基盤の整備と住民への参画を促す情報発信
- ・地域の課題解決と住民交流を推進することと、そのための基盤づくり
- ・人材育成
- ・地域産業、コミュニティビジネスの発掘、開発
- ・災害時の避難対応

### □ 笑顔いっぱい、支えあう元気な郷

- ・心と体の健康づくり
- ・生活弱者を支える仕組みづくり
- ・女性の社会参加への推進
- ・ボランティア養成
- ・敬老会の実施

## 事業計画年度（実施年度：平成 27 年度～平成 29 年度）

基本方針	事業項目	実施年度			備考
		27	28	29	
豊かな自然環境を維持し、文化を育む郷	環境整備事業	▶			集落、他団体と連携
	地域資源の発掘と活用		▶		
	伝統文化を守り受け継ぐ取り組み	▶			
一人ひとりの良さを活かした安心で活力のある郷	交流事業の実施	▶			
	コミュニティ支援	▶			
	住民参画を促す基盤整備と人材育成	▶			
笑顔いっぱい、支え合う元気な郷	健康づくり		▶		地域福祉室、社協と連携
	ささえあいの地域づくり	▶			
	敬老会事業	▶			実行委員会人的支援

議第 3 号

平成 27 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

平成 27 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について、別紙案により承認を求めます。

平成 27 年 4 月 10 日 提出

平林地域まちづくり協議会 会 長 佐藤 幸夫

平成 27 年 4 月 10 日 承認

平林地域まちづくり協議会 総会議長 小池 信義

## □平成 27 年度事業計画

区 分	事業名、取組項目	実施 時期	対 象	取 組 内 容	備 考
1 地域の 課 題 解 決、地 域 振 興 及 び 住 民 交 流	(1) 地域交流事業				
	交流事業の実施	8 月～ 11 月	全世帯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の親睦と交流を図るため交流事業を実施する。</li> <li>・集落行事や伝統文化への参加をつうじて伝統文化への理解を深める。</li> <li>・小学校、PTA との連携を図る。</li> </ul>	
	(2) 住民参画を促す基盤整備と人材育成				
	まちづくり研修 会の実施	6 月～ 翌 3 月	全住民	地域住民や女性を対象とした研修視察や研修会などを開催し、まちづくり活動のあり方や取り組みを学ぶ。	
		6 月～ 翌 3 月	全住民	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の課題解決や活性化に向けた話し合いの場づくりに取り組む。</li> <li>・各種団体代表との話し合いをつうじてまちづくり活動への連携を深める。</li> </ul>	
	(3) 地域コミュニティ支援事業				
地域コミュニティを支援する	通年	集落	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松沢区里山復活創造事業</li> <li>・小岩内収穫祭</li> <li>・区民防災訓練・区役員の表札作成</li> <li>・区民運動会</li> <li>・ふれあいラジオ体操・自主防災力向上訓練</li> <li>・平林不動滝環境整備</li> <li>・観桜会・宿田そば祭り</li> </ul>	松 沢 小 岩 内 川 部 湯 ノ 沢 葛 籠 山 平 林 宿 田	
		集落	<p>地域の活性化に意欲的な取り組みをする集落の活動に対し、手上げ方式により支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パインバレー湿原整備事業</li> <li>・公会堂施設活用事業</li> <li>・雨乞い池復元時事業</li> <li>・湯ノ沢よさこいソーラン事業</li> <li>・イルミネーション事業</li> <li>・伝統文化復元事業</li> </ul>	松 沢 小 岩 内 川 部 湯 ノ 沢 平 林 宿 田	

	(4) 安全安心なくらし対策事業				
	安全安心な暮らし対策事業	通年	全住民	安心安全に暮らしていくために高齢者や子供を守る防犯活動や災害時における避難対応について自主防災組織と連携した活動に取り組む。	
2 健康及び福祉の増進	(1) ささえあいの地域づくり事業				
	ささえあいの地域づくり事業	通年	全住民	ささえあいの地域づくりのため、社会福祉協議会や保健師と連携して地域の茶の間支援や健康教室など健康・福祉事業に取り組む。	
	(2) 敬老会事業				
	敬老会の実施	6月21日	75歳以上	敬老会事業に対し、人的支援を行う。	主催：実行委員会
3 環境の保全及び改善	(1) 環境整備事業				
	環境整備事業	通年	集落	荒川クリーン作戦や集落単位での環境整備に取り組む。	
全住民			新たな魅力を探し活用するため地域資源宝の発掘に取り組む。		

## 平成27年度 平林地域まちづくり協議会 収支予算

### 収 入

(単位:円)

区 分	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域まちづくり交付金	1,661,000	1,608,000	53,000	地域まちづくり交付金
2 諸収入	280,000	280,000	0	前年度繰越金279,116円、利息等884円
合 計	1,941,000	1,888,000	53,000	

### 支 出

区 分	本年度	前年度	比 較	説 明
1 地域振興費	350,000	320,000	30,000	
1 地域交流事業	350,000	300,000	50,000	地域交流イベント、他団体との連携事業
2 連携事業	0	20,000	▲ 20,000	
2 研修費	105,000	130,000	▲ 25,000	
1 研修事業	90,000	100,000	▲ 10,000	研修視察 女性研修 一般研修
2 基盤整備事業	15,000	30,000	▲ 15,000	課題解決に向けた話し合いの場づくり
3 地域コミュニティ支援経費	898,000	814,000	84,000	
1 集落活動支援事業	398,000	314,000	84,000	各集落の事業を支援
2 元気づくり応援事業	500,000	500,000	0	手上げ方式による支援事業
4 安全安心な暮らし対策事業	20,000	20,000	0	
1 安全安心な暮らし対策事業	20,000	20,000	0	自主防災組織との連携 見守り隊事業
5 健康・福祉増進経費	15,000	21,000	▲ 6,000	
1 ささえあいの地域づくり事業	15,000	20,000	▲ 5,000	ささえあいの地域づくり、敬老会参画
2 敬老会事業	0	1,000	▲ 1,000	
6 環境保全・改善経費	10,000	20,000	▲ 10,000	
1 環境整備事業	10,000	20,000	▲ 10,000	地域資源の発掘、荒川クリーン作戦
7 組織運営経費	526,000	502,000	24,000	
1 役員報償費	262,000	262,000	0	会長 32,000円×1 副会長 22,000円×1 運営委員 17,000円×12 監事 2,000円×2 計 262,000円
2 費用弁償	21,000	35,000	▲ 14,000	1,000円×7名×3回=21,000円
3 会議費	20,000	20,000	0	会場借り上げ料500×20回、お茶代等
4 消耗品費	20,000	30,000	▲ 10,000	コピー用紙、事務用品等
5 印刷製本費	120,000	150,000	▲ 30,000	まちづくり新聞
6 口座振替手数料	5,000	5,000	0	口座振替手数料
7 備品購入費	78,000	0	78,000	
8 予備費	17,000	61,000	▲ 44,000	
合 計	1,941,000	1,888,000	53,000	

※ 区分の予算支出に不足が生じた場合は、他の区分から流用することができるものとする。



□ 平林地域まちづくり協議会 役員運営委員名簿

(敬称略)

役 職	氏 名	集 落	備 考
会 長	佐藤 幸夫	川 部	
副会長	木村 竜也	平 林	
運営委員	田中 ますみ	松 沢	
運営委員	田中 ひとみ	松 沢	
運営委員	松本 富雄	小岩内	
運営委員	高野 静雄	小岩内	新任
運営委員	佐藤 一嘉	川 部	
運営委員	小池 利也	湯ノ沢	
運営委員	小池 安雄	湯ノ沢	
運営委員	佐藤 弘幸	葛籠山	
運営委員	杉上 元太	葛籠山	
運営委員	斎藤 俊則	平 林	新任
運営委員	三須 清一	宿 田	新任
運営委員	阿部 元幸	宿 田	

□ 平林地域まちづくり協議会 代議員名簿

(敬称略)

	氏 名	集 落	備 考
1	佐藤 巧	松 沢	区長
2	佐藤 昌彦	松 沢	
3	阿部 剛	松 沢	
4	竹内 芳男	小岩内	区長
5	高野 康雄	小岩内	
6	高野 尚子	小岩内	
7	佐藤 勝栄	川 部	
8	斎藤 仁一	川 部	
9	佐藤 久美子	川 部	
10	小池 信義	湯ノ沢	区長
11	塚原 絵美	湯ノ沢	
12	小池 直美	湯ノ沢	
13	高橋 春美	葛籠山	区長
14	飴田 栄一	葛籠山	
15	齋藤 知代	葛籠山	
16	小野 篤	平 林	区長
17	木村 清美	平 林	
18	佐藤 知江	平 林	
19	遠山 精一	宿 田	区長
20	清村 由美子	宿 田	
21	遠山 貴志子	宿 田	

## 平林地域まちづくり協議会規約

平成24年3月13日制定

平成25年4月12日改正

(目的)

**第1条** 本会は、平林地域の豊かな自然環境や文化を未来への贈り物とし、この地に暮らす人々それぞれの良さを活かし、お互い知恵を出し合い、協力し合って、活気と魅力あふれる地域を目指し活動することを目的とする。

(名称)

**第2条** 本会は、平林地域まちづくり協議会と称する。

(事務所)

**第3条** 本会の主たる事務所は、神林支所地域振興課自治振興室(村上市岩船駅前56番地)に置く。

(事業)

**第4条** 本会は、第1条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の課題解決、地域振興及び住民交流に関すること。
- (2) 健康及び福祉の増進に関すること。
- (3) 安全及び安心に関すること。
- (4) 環境の保全及び改善に関すること。
- (5) 地域資源の有効活用に関すること。
- (6) 地域の産業振興に関すること。
- (7) コミュニティビジネス等地域経営に関すること。
- (8) その他、まちづくりに関し、特に必要なこと。

(構成)

**第5条** 本会は、平林地域に居住する人及び平林地域で事業を行う個人若しくは法人、又は平林地域で活動する各種団体をもって構成する。

(役員)

**第6条** 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 監事 2名

2 会長、副会長は、運営委員会において委員の互選により選出し、総会の承認を得る。

3 監事は、運営委員会において代議員の中から選出し、総会の承認を得る。

(役員職務)

**第7条** 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故その他やむをえない事情により職務を遂行できないときは、その職務を代行する。

3 監事は、本会の事業及び会計の執行状況を監査し、総会に報告する。

4 必要に応じて、その他の役員を置くことができる。

(役員任期)

**第8条** 役員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠により選出された役員任期は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、任期終了後においても後任者が就任するまでの間は、その職務を行うものとする。

(報償費及び費用弁償)

**第9条** 役員等に対し、報償費及び費用弁償を支払うものとする。

(運営委員)

**第10条** 運営委員は、平林地域の居住者で、別表により各集落から選出された14名とする。

2 運営委員は、運営委員会において総会に付議する事項及び本会の運営に関することを審議する。

3 運営委員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 補欠により選出された運営委員任期は、前任者の残任期間とする。

5 運営委員は、代議員を兼務することができない。

(代議員)

**第11条** 代議員は、次により選出する。

(1) 平林地域を構成する集落区長。ただし、集落区長が第10条に定める運営委員に選出された場合は、その代理者とする。

(2) 平林地域の居住者で、別表により集落推薦を受けた者とする。

(3) 本会の趣旨に賛同し、その活動に参画する者で、運営委員会の承認を受けた者とする。

2 代議員は、総会において運営委員会が提案する議題を審議し、議決する。

3 代議員任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

4 代議員に欠員が生じた場合の補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

5 代議員は、運営委員を兼務することができない。

(会議)

**第12条** 本会の会議は、総会、運営委員会とする。

(総会)

**第13条** 総会は、代議員をもって構成する最高の議決機関であり、本規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために必要な事項を審議、決定する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

3 通常総会は、毎年度1回開催し、臨時総会は、会長が必要と認めるとき、又は、代議員の3分の1以上の請求があった場合に開催するものとする。

4 総会の議長は、出席代議員のうちから選出する。

5 総会は、代議員の2分の1以上の出席により成立するものとする。

6 総会の議事は、出席者の過半数で議決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

7 総会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 地域まちづくり計画の策定及び変更に関する事。
- (2) 規約の制定及び改正に関する事。
- (3) 会長、副会長、監事の承認に関する事。
- (4) 事業計画、事業報告、予算及び決算に関する事。
- (5) その他、重要事項に関する事。

(総会の議事録)

**第14条** 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 出席者数
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果
- (5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印し、事務所に備え付けておかなければならない。

(運営委員会)

**第15条** 運営委員会は、会長、副会長及び運営委員をもって構成する。

- 2 運営委員会は、総会に付議する事項及び本会の運営に関する事を審議、決定する。
- 3 運営委員会は、会長が招集する。
- 4 運営委員会の議長は、会長がこれにあたる。
- 5 運営委員会は、運営委員の2分の1以上の出席により成立するものとする。

(事務局)

**第16条** 本会の円滑な運営及び事業実施に資するため、事務局を置く。

- 2 事務局には事務局員を置き、地域振興課自治振興室職員を充てる。
- 3 事務局員は、本会の事務及び会計事務を処理する。

(会計)

**第17条** 本会の運営等に係る経費は、地域まちづくり交付金、その他収入をもって充てる。

- 2 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 3 年度開始後に予算が総会において議決されていない場合、会長は総会において予算が議決される日までの間は、前年度の予算を基準にして収支をすることができる。

(事業計画及び収支予算)

**第18条** 本会の事業計画及び収支予算は、運営委員会の承認を得た後、総会の議決を得なければならない。

(監査)

**第19条** 会長は、事業年度終了後、事業報告書、収支決算書及び積立金台帳を作成して監事に提出し、その監査を受けなければならない。

- 2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(書類及び帳簿の備付け)

**第20条** 本会の主たる事務所には、本会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

**第21条** 本会が、各種取組みを推進するため必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

(その他)

**第22条** この規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が運営委員会に諮り、別に定める。

## 附 則

この規約は、平成24年3月13日から施行する。

改正後の規約は、平成25年4月12日から施行する。

(別表) (第10条、第11条関係)

集 落	定 数
松 沢	2 名
小岩内	2 名
川 部	2 名
湯ノ沢	2 名
葛籠山	2 名
平 林	2 名
宿 田	2 名

ただし、年齢、性別等を考慮することとする。

平林地域まちづくり協議会

---

村上市神林支所地域振興課内

〒959-3492

村上市岩船駅前 56 番地

電話、告知端末：0254-66-6122

FAX：0254-66-6110